

本年は、立茎時期に降雨が続いたため、茎枯病の発生が多いです。発病茎からの2次感染も散見されます。茎枯病の病斑部の茎は取り除き、圃場外で処分してください。

1. 薬剤散布 株の勢いが低下している場合は、アミノメリット特青 500 倍を加用する

★ハウス

時期	薬剤	濃度	10a 当り 散布量	薬剤調合 (水 100 ㍓当り)	対象病害虫								
8月 上中旬	ダントツ水溶剤 ベンレート水和剤	4,000 倍 2,000 倍	300 ㍓	<table border="0"> <tr> <td>└─ 水</td> <td>100 ㍓</td> </tr> <tr> <td>└─ 展着剤 (ハイパー)</td> <td>20ml</td> </tr> <tr> <td>└─ ダントツ水溶剤</td> <td>25g</td> </tr> <tr> <td>└─ ベンレート水和剤</td> <td>50g</td> </tr> </table>	└─ 水	100 ㍓	└─ 展着剤 (ハイパー)	20ml	└─ ダントツ水溶剤	25g	└─ ベンレート水和剤	50g	アラム類 アミナミ、カラム類 ジュウホクカラム 茎枯病、斑点病 褐斑病、株腐病
└─ 水	100 ㍓												
└─ 展着剤 (ハイパー)	20ml												
└─ ダントツ水溶剤	25g												
└─ ベンレート水和剤	50g												
8月 中下旬	ディアナ SC	2,500 倍	300 ㍓	<table border="0"> <tr> <td>└─ 水</td> <td>100 ㍓</td> </tr> <tr> <td>└─ 展着剤 (ハイパー)</td> <td>20ml</td> </tr> <tr> <td>└─ ディアナ SC</td> <td>40ml</td> </tr> </table>	└─ 水	100 ㍓	└─ 展着剤 (ハイパー)	20ml	└─ ディアナ SC	40ml	アミナミ類 ハミヨウ 材ハカ ジュウホクカラム		
└─ 水	100 ㍓												
└─ 展着剤 (ハイパー)	20ml												
└─ ディアナ SC	40ml												
※1 9月 上中旬	※3 アミスター20フロアブル コテツフロアブル	2,000 倍 2,000 倍	300 ㍓	<table border="0"> <tr> <td>└─ 水</td> <td>100 ㍓</td> </tr> <tr> <td>└─ アミスター20フロアブル</td> <td>50ml</td> </tr> <tr> <td>└─ コテツフロアブル</td> <td>50ml</td> </tr> </table>	└─ 水	100 ㍓	└─ アミスター20フロアブル	50ml	└─ コテツフロアブル	50ml	茎枯病、斑点病 褐斑病、疫病 ハミナミ類、材ハカ ヨウム、ハミヨウ ジュウホクカラム		
└─ 水	100 ㍓												
└─ アミスター20フロアブル	50ml												
└─ コテツフロアブル	50ml												

★露地栽培

時期	薬剤	濃度	10a 当り 散布量	薬剤調合 (水 100 ㍓当り)	対象病害虫								
8月 上中旬	ダントツ水溶剤 コサイド 3000	4,000 倍 2,000 倍	300 ㍓	<table border="0"> <tr> <td>└─ 水</td> <td>100 ㍓</td> </tr> <tr> <td>└─ 展着剤 (ハイパー)</td> <td>20ml</td> </tr> <tr> <td>└─ ダントツ水溶剤</td> <td>25g</td> </tr> <tr> <td>└─ コサイド 3000</td> <td>50g</td> </tr> </table>	└─ 水	100 ㍓	└─ 展着剤 (ハイパー)	20ml	└─ ダントツ水溶剤	25g	└─ コサイド 3000	50g	アラム類 アミナミ、カラム類 ジュウホクカラム 茎枯病、斑点病 褐斑病
└─ 水	100 ㍓												
└─ 展着剤 (ハイパー)	20ml												
└─ ダントツ水溶剤	25g												
└─ コサイド 3000	50g												
8月 中下旬	ダコニール 1000 ディアナ SC	1,000 倍 2,500 倍	300 ㍓	<table border="0"> <tr> <td>└─ 水</td> <td>100 ㍓</td> </tr> <tr> <td>└─ 展着剤 (ハイパー)</td> <td>20ml</td> </tr> <tr> <td>└─ ダコニール 1000</td> <td>100ml</td> </tr> <tr> <td>└─ ディアナ SC</td> <td>40 ml</td> </tr> </table>	└─ 水	100 ㍓	└─ 展着剤 (ハイパー)	20ml	└─ ダコニール 1000	100ml	└─ ディアナ SC	40 ml	茎枯病、斑点病 褐斑病、疫病 アミナミ類 ハミヨウ 材ハカ ジュウホクカラム
└─ 水	100 ㍓												
└─ 展着剤 (ハイパー)	20ml												
└─ ダコニール 1000	100ml												
└─ ディアナ SC	40 ml												
※1 9月 上中旬	※3 アミスター20フロアブル コテツフロアブル	2,000 倍 2,000 倍	300 ㍓	<table border="0"> <tr> <td>└─ 水</td> <td>100 ㍓</td> </tr> <tr> <td>└─ アミスター20フロアブル</td> <td>50ml</td> </tr> <tr> <td>└─ コテツフロアブル</td> <td>50ml</td> </tr> </table>	└─ 水	100 ㍓	└─ アミスター20フロアブル	50ml	└─ コテツフロアブル	50ml	茎枯病、斑点病 褐斑病、疫病 ハミナミ類、材ハカ ヨウム、ハミヨウ ジュウホクカラム		
└─ 水	100 ㍓												
└─ アミスター20フロアブル	50ml												
└─ コテツフロアブル	50ml												

※1 9月以降は次年度の収量確保に向けて薬剤散布と併せてPKゴー (3,000 倍希釈) を葉面散布する。

※2 樹勢低下園地で、農薬散布時にアミノメリット特青を加用する場合、展着剤は不要。

※3 アミスター20フロアブルを使用する際は薬害回避のため展着剤は使用しない。

裏面もご覧ください

● オオタバコガ発生状況

- ・オオタバコガの発生は平年より少なめで推移しています。しかし、今後気温の上昇とともに発生数の増加が見込まれます。8月上旬は重点防除時期となりますので、必ず定期散布を実施してください。

2. 排水対策 ～土壤病害の対策～

地下水位の高いほ場や滞水しやすいほ場を中心に立枯症状や生育不良の園地が見られます。特に土壤病害は排水不良の圃場で発生が多い傾向です。

土壤病害は一度発生すると年々被害が拡大していきますので、圃場内に水が溜りやすい場合は、排水溝を設けて停滞水の排水に努めて下さい。

近年、雨の降りかたが極端になってきております。十分に注意してください。

3. 夏肥の施用（10a 当たり） ～かん水と合わせると効果的～

☆8月上旬に「追肥グリーン2号」を露地は 10a 当り 30kg、ハウスは 10a 当り 20kg 追肥して下さい。

☆夏秋どりは、「追肥グリーン2号」を8月上旬、中旬それぞれ 10a 当たり 10Kg 施用して下さい。

☆アスパラによきによきを元肥に施用した場合は、8月中旬に「追肥グリーン2号」を 20kg 追肥して下さい。

4. 立茎数の制限と茎葉整理

(1) 立茎数の制限（必要茎数の目安）

*1 株当たり目標立茎本数の目安

	夏秋収穫する園地	夏秋収穫しない園地
立茎数	4～5 本	6 本程度

※2 年目は 5～6 本

*1m 当たり立茎本数の目安

	夏秋収穫する園地	夏秋収穫しない園地
立茎数	15～18 本 (長期どり 12～15 本)	20 本程度

*立茎の太さはL 級程度（3～4 本L クラス、1～1.4cm 程度）の茎とする。

(2) 茎葉整理

- ・地上 30～40cm までの側枝や下枝は除去し、先端が垂れ下がったものは軽く刈り取る。
- ・雨よけハウスでは、ムシが褐斑病等の病気の発生を助長するため、茎葉を先刈りし、天井ビニールとの空間を開ける
- ・必要茎数を確保し、病茎や不良茎、倒伏茎は抜き取り焼却して下さい。
- ・ムシ、過繁茂防止のためにも積極的な夏秋収穫をして下さい
- ・細い茎は 8 月下旬まで切り取り整理して下さい。
- ・2～3 年生の株で立茎数の多い「とらずして減収」しているほ場が見られます。積極的に間引き収穫を行いましょう。

5. かん水

*灌水による生育・収量への効果は顕著です。昨年のように干ばつが続く場合は積極的に実施して下さい。

但し、急激に多量のかん水は落葉等の生理障害や病気発生（根腐れ）につながるので注意する。

*夏秋どりをする圃場では、収量確保のためにも定期的に灌水を実施して下さい。